

▼意見を出し合う新聞部員と市議会議員の方



高校生と市議会議員が議論交わす

彦根市議会議員報告会開催

グループで出した意見を発表する小椋君



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

議員の方々からのコメント

安居正倫議員

なかなか聞くことができない若者の意見を聞けてよかった。これからはスマホでの投票など若者がより投票しやすい選挙制度を作るなど若者が投票しやすい環境を作ることができるように努力したい。

自分が高校生の時は政治に全く関心がなかったで、このような機会をきっかけに若い人に政治に関心を持ってもらえればと思う。

山田多津子議員

安藤博議員

今回のワークショップを通じて選挙方法の在り方そのものに疑問を覚えた。時代に合った選挙方法の在り方を考えたい。

政治は身近なものなのでもっと関心を持ってほしい。その点でこのような機会を持つことができてよかった。

辻真理子議員

今回のワークショップに参加した小椋敏幸君（2-2）は「自分では思いつかないような色々な意見が聞けてよかった。このような機会を学校の授業の一環として取り入れることができればより良いと思う」と、児嶋素直君（2-7）は「今まであまり関心のなかった市議会に関心を持てる良い機会だった。このような機会がもっと増えれば若者にとっても議会の人にとっても良いと思う」とそれぞれ振り返った。

1月29日に彦根市役所で第18回彦根市議会議員報告会「参議院議員通常選挙からみた若者の投票行動について」が行われ、本校新聞部員21人と彦根市議会議員8人が「なぜ若者は選挙（投票）に行かないのか？」「こうすれば若者は選挙（投票）に行くかも」という2つのテーマについてワークショップを行った。ワークショップは4つの班に分かれて意見を出し合い、それを模造紙にまとめて発表するという形式で行われた。